

加茂山一斉清掃 (4月1日)

主な内容

- 小池市長の市政報告…………… 24
 - ・加茂川の土手かさ上げ事業に着手… 2
 - ・8月から新飯田線に市民バス運行 34
- 平成19年度の教養講座…………… 5
- 県立加茂病院「かもドック」…………… 67
- 加茂市表彰式55人が受賞…………… 89
- 副市長に吉田淳二氏・齋藤保氏…………… 10
- 加茂の風土記…………… 12

市政報告 その一

加茂市長 小池 清彦

加茂川の土手のかさ上げの事業が今年度から着手されることになりました。

加茂川の土手のかさ上げについて、このたび国土交通省から事業の内示があり、今年度は、一千万円の予算で実施設計を完了し、来年度から工事にかかることになりました。

事業主体は県になります。

下条川につきましても、できるだけ早く着手する方向だそうです。

国及び県御当局に対し、心から感謝申し上げます。

私も、新潟県河川協会の会長として、加茂川と下条川のかさ上げが、できるだけ早く完成するよう、全力をあげたいと思います。

なお、大正川の川口の排水機場につきましましては、国土交通省から二億四千万円の内示があり、今年度中に概ね完成する予定となりました。

市政報告 その二

新潟交通の新飯田線が八月一日から廃止となり、市民バスが運行されま

す。
市民バスは、新飯田線の現在の各便と同じ時刻表で新飯田まで運行されるうえに、さらに最終便が一本追加されます。したがって、新潟交通の一日九便は、市民バスでは十便となります。

小泉前総理は、「官から民へ」と申しましたが、地方においては、官から民へ移せるようなものはありません。実際はむしろ逆で、民が撤退したものを官が引き継がざるをえなくなっております。即ち地方では、「民から官へ」とならざるをえない実情であります。

市政の半分は、効率化・合理化を追求いたしますが、市政の残りの半分は、効率化・合理化からはみ出してしまったものを官がしっかりと担うことにあります。即ち、採算が合わないので民間が手を引き、あるいはやろうとしないものでも、住民の幸せを確保するために絶対にやらなければならぬものについては、市がしっかりと担い、あるいは県がしっかりと担わなければならないわけです。

たとえば、県立病院は、採算の合わない医療の部門をしっかりと担う役目を持っています。市民バス、図書館、文化会館、公民館、コミュニティセンター、料金の安い美人の湯等の温泉、温水プール、体育館、屋内ゲートボール場、冬鳥越スキ―ガーデン等は、みな、採算の合わないものを市がしっかりと担っているものです。

話を市民バスにしぼって申しますと、加茂市では、天神林、川西、山島方面でずいぶん前から民

間バスが撤退していたところに、まず、市民バスを運行いたしました。

次に、小泉内閣が地方へよこす地方交付税交付金を大幅に削ったため、平山知事の時代に県が民間バスに対する補助金を大幅に削減いたしました。そうしましたら、蒲原鉄道(株)は、採算の取れる朝方と夕方の便等を除いて、採算の取れない便を廃止してしまいました。しかし、採算は取れないくとも、昼間バスが通らないのでは、市民の皆様が大きな苦しみに遭われることとなります。そこで加茂市では、平成十五年八月から蒲鉄バスが廃止した採算の取れない便について、市民バスの運行を開始し、現在に至っております。

市民バスに乗っている人が少ないと文句を言う方がおられますが、採算の合わない便に市民バスを出しているのですから、それは当然のことです。しかし、市民の皆様のお幸せを守るためには、市民バスは絶対に必要です。

そしてこのたび、新潟交通(株)は、去る三月の十日頃に須田方面の新飯田線の九便を五便に減便したいと言ってこられ、もし、減便しないでもら

いたいのであれば、現在加茂市がこの新飯田線のために出している補助金を大幅に増やしてもらいたいと言ってこられました。

そこで加茂市では、市民バスを出して、全ての便を運行する方が、加茂市からの補助金を大幅に増やすよりも安上がりであると判断し、このたび、新潟交通(株)の御了承の下に、新飯田線を市民バスに切り替えることとしたところであります。

必要な予算は、平成十九年度の補正予算第一号として、すでに市議会で可決されております。

新潟交通(株)が三月十日頃に急に減便すると言い出されたものですから、バスは、四月に発注せざるをえず、バスの艤装とドライバーの手配に時間がかかるため、市民バスの運行開始は、本年八月一日とならざるをえないことを御理解いただきたいと存じます。

それまでの間は、極力市民の皆様にご不便がからぬよう、鋭意、新潟交通(株)と折衝してまいりたいと存じます。

平成19年度 教養講座 受講生募集

講座名	講師	講座日(回数)		定員
生け花(宏道流)	中沢 智子	月曜日	午後7時～9時(20回)	30人
料理(一般)	坪谷 節子		午後7時～9時(10回)	20人
ゴルフ(初心者)	坪谷 清	火曜日	午後7時30分～9時20分(20回)	20人
茶道(表千家)	武田東洋治		午後7時～9時(20回)	15人
社交ダンス(初心者)	萱森 トシ		午後7時～9時(20回)	50人
フラワーアレンジメント	原田 純恵	水曜日	午後7時～9時(20回)	30人
料理(初心者)	坪谷 節子		午後7時～9時(20回)	20人
お菓子作り	皆川 栄子	木曜日	午後7時～9時(10回)	20人
着物着付け	渡辺 和		午後7時～9時(20回)	20人
書道	関川瀧治郎		午後7時～9時(20回)	30人
エアロビクス(初心者)	神原 弘美	金曜日	午後7時30分～8時30分(20回)	50人
ゴスペル	桑原 純子		午後7時～9時(20回)	30人
民踊	長谷川サヨ		午後7時～9時(10回)	30人
カラオケ(昼の部)	山岸之起	偶数月の第2金曜日 午前10時～正午		60人
カラオケ(夜の部)	山岸之起	奇数月の第2金曜日 午後6時30分～8時30分		60人
箏曲こども	高橋 理香	月曜日	午後6時30分～8時30分(月数回)	20人
柳生新陰流剣道 小野派一刀流、 二天一流、林崎流	加茂市長 小池 清彦	第1・3水曜日 午後7時～9時		—
太極拳 形意拳 八卦掌	加茂市長 小池 清彦	第2・4水曜日 午後7時～9時		—

会 場

勤労青少年ホーム

※ゴルフ講座は加茂ゴルフセンター、エアロビクス講座は勤労者体育センター、カラオケ講座は上町コミュニティセンター、箏曲こども講座は文化会館で行います。

対 象

どなたでも受講できます。青年、少年歓迎!!

※箏曲こども講座は、原則として小・中学生が対象。

受け付け

定員になり次第、受け付けを締め切ります。

※柳生新陰流剣道講座、太極拳講座、カラオケ講座、箏曲こども講座は随時受け付けます。

受講料等

年間1,000円(保険料+会費)

※高校生以下の受講料は年間500円。各講座の教材費は自己負担です。

申し込み・問い合わせ

勤労青少年ホーム(電話52-6116)へ。

柳生新陰流剣道講座、太極拳講座についてのお問い合わせは、総務課秘書係(電話52-0080内線328)へ。

速い、ていねい、苦しくない 県立加茂病院の人間ドック「かもドック」

【ご案内】

誰でも健康な毎日を願うもの、そのためには定期検診が大切です。「かもドック」は、がんと生活習慣病(高血圧、糖尿病、高脂血症など)の予防を目標にしています。また最近、メタボリック症候群が、心筋梗塞や脳卒中の予備軍として注目されています。

緑豊かな北越の小京都で、年に一度のメディカルチェックを受け、心身のリフレッシュをされてはいかがでしょうか。

【かもドックの特徴】

1. 速い

- ▶ ほとんどの検査が昼までに終了します(午後が有効に使えます)。
- ▶ 最終報告を2週間以内に郵送します。

2. ていねい

- ▶ がんと生活習慣病に重点を置いた、充実した検査です。
- ▶ 待合室はきれいで広く、ゆったりとおくつろぎいただけます。
- ▶ 専任職員が院内をご案内しますので、安心して検査を受けられます。
- ▶ 専用診察室でていねいに、医師が診察と説明をさせていただきます。
- ▶ お昼には、管理栄養士のお話とおいしい健康食がです。

3. 苦しくない

- ▶ 胃がん検診の経鼻内視鏡は「苦しくない内視鏡」と、皆様から支持をいただいています。
- ▶ 女性技師が超音波で行う乳がん検診は、マンモグラフィーより精密で、しかも痛くない検査です。

【種類と料金】

■日帰りドック 43,240円(昼食付)

- ▶ 毎週 月・水・木の3日間(子宮がん検診は水のみ)、午前8時30分開始、正午ころ終了。
- ▶ 定員1日5名様。
- ▶ 市町村の国民健康保険や職場の共済など、健康保険組合から助成金が受けられることが多いので、ご確認ください。
- ▶ 追加項目をご希望の場合は、加算されます(表Ⅱ)。

「グループ貸切」

3名様以上またはご夫婦2組のグループで、当日貸切にできます(貸切料金無料)。

「温泉プラン」

- (日帰り) 湯田上温泉「わか竹」でのご休息と薬膳懐石 48,240円
- (お泊り) 湯田上温泉「わか竹」でのご宿泊と薬膳懐石 53,240円

【申し込みとお支払い】

- ▶ 予約制 電話 0256-52-0701 内線216 FAX 0256-52-0776
- ▶ 予約後、必要書類を郵送します。キャンセルは10日前までにご連絡ください。
- ▶ お支払いと直接のお申し込みは、1階受付でお願いいたします。

【お問い合わせ】

新潟県立加茂病院 加茂市青海町1-9-1 電話 0256-52-0701 FAX 0256-52-0776

【検査項目と料金】

I. 基本項目と料金(定価) 日帰りドック 43,240円

自己負担額は、ここから健保団体・市町村などからの助成額を引いた金額になります

基本検査項目 (細字は地方共済組合指定項目、太字は加茂病院のサービス項目)	
一般計測	身長、体重、視力、聴力、BMI、腹囲測定、 体脂肪率
呼吸器	胸部レントゲン、肺活量、1秒率
消化器	便潜血、 腹部超音波 、胃内視鏡(経鼻)
循環器	血圧、心電図、心拍数、眼底、眼圧
脂質代謝	総コレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪、 LDLコレステロール
肝機能	総蛋白、GOT、GPT、 γ -GTP、ALP、HBs抗原、蛋白分画、LDH、総ビリルビン、 HCV抗体
糖代謝	血糖、HbA1c
腎・膵(すい)機能	尿酸、クレアチニン、 尿素窒素 、 アミラーゼ
他の血液検査	白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、 血清鉄 、 赤沈 、 血小板数 、 血液型(初回のみ)
尿検査	尿糖、尿蛋白、尿潜血
がんマーカーその他	CEA 、 CA19-9 、 エラスターゼI 、 PSA(男性) 、 リウマチ因子 、 CRP 、 梅毒反応
婦人科検査	乳がん超音波検査 、 子宮がん内診 ・ 細胞診

II. 追加項目と料金

項目名	料金(円)	対象臓器、内容、特徴など
がん予防	CT(頭部)	12,140 脳腫瘍の発見に役立ちます。
	CT(胸部)	13,130 通常の胸部レントゲン写真では見逃されやすい小さな肺がんでも、CTならより精密に発見できます。
	CT(腹部)	13,130 肝、胆、膵、腎、子宮、卵巣、前立腺など、内視鏡で見えない臓器にできるがんの発見に有用です。また内臓脂肪を、CT写真と数値で示します。
	喀痰細胞診	3,470 肺がんの早期発見のため、痰の出る方には、お勧めします。
	CF(大腸内視鏡)	17,440 無症状の大腸がんやポリープは、意外に多いものです。CFで早期のうちに発見できれば、開腹せずに、入院せず切ることができます。
その他	骨密度	1,450 骨粗しょう症のチェックに必要です。
	心臓エコー	10,340 心臓のポンプ機能を、形と数値で示す無侵襲の検査です。
	頸動脈エコー	5,690 脳梗塞を起こす危険度を頸動脈の硬化度を調べて予知します。
	睡眠時無呼吸検査(PSG)	35,570 突然死の原因になる睡眠時無呼吸症候群の検査です。1泊で行います。
	脈波図	1,550 動脈硬化の程度を示す検査です。高血圧の方にお勧めします。



平成18年度 加茂市表彰式



加茂市発展の功労・功績に感謝

平成十八年度の加茂市表彰式が三月二十八日、文化会館で行われました。

表彰を受けられたのは、五十五人で、いずれも各分野での功労・功績をたたえてのものです。

表彰された皆さんは、次のとおりです。(敬称略)

自治興隆

三浦伸一(51) 教育委員会委員として
十年以上。五番町

永井榮子(70) 教育委員会委員として
十年以上。栄町

永井尚文(59) 農業委員会委員として
十年以上。天神林

中野正榮(68) 農業委員会委員として
十年以上。岩野

小柳幸雄(54) 農業委員会委員として
十年以上。上下条

社会風教高揚

馬場道子(73) 加茂生活学校運営委員長として地域生活の向上に尽力。五番町

業務精励

小柳十九一(72) 林業従事者として五十年以上、伝統的高度伐採技術の継承



に尽力。上条

中野リエ(63) 宮寄上浄水場の作業に二十五年以上従事し、上水道運営に尽力。岩野

坂上清一(67) 加茂川鮭孵化放流業務に三十年以上従事し、漁業の振興に尽力。大郷町一

岡野秀造(66) 木造住宅建築において四十年以上にわたり安全管理と後進の指導に尽力。高須町二

教育文化功労

谷地田貞(76) 第六十一回新潟県美術展覧会(県展) 日本画部門において県展賞受賞。後須田第四

河内敦子(52) 新潟県美術展覧会(第六十回・第六十一回県展) 書道部門において奨励賞受賞。新町二

玉木徳津子(45) 新潟県美術展覧会(第六十回・第六十一回県展) 写真部門において奨励賞受賞。五番町

体育功勞

村越大純(42) 第六回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技において準優勝。柳町二

吉田正明(44) 体育指導委員として十七年以上。都ヶ丘

山浦富美子(53) 体育指導委員として十五年以上。小橋二

保健衛生功勞

土田直樹(33) 献血五十回以上。都ヶ丘

石川直人(26) 献血五十回以上。千刈

三

中澤浩二(52) 献血五十回以上。八幡

二

手塚昭子(78) 学校医として二十年以上。穀町

監物雅子(60) 学校医として二十年以上。旭町

川崎桂子(50) 学校薬剤師として二十年以上。大郷町一

社会福祉功勞

永井研一(75) 民生・児童委員として十二年以上。早田

知野東悟(47) 保護司として十二年以上。五番町

坂上儀一郎(79) 人権擁護委員として

十六年以上。小橋二

土地改良功勞

佐野定一(71) 加茂郷土地改良区役員として二十年以上。石川一

吉井貞衛(69) 三条土地改良区役員として二十年以上。下興野

産業振興功勞

白井一雄(85) 北潟野菜出荷組合代表として二十八年以上。北潟

青野憲一(52) 果樹生産において農林水産大臣表彰受賞。第二十五区

消防功勞

中山喜重郎(65) 消防団員として三十年以上。矢立

坂上嘉一郎(52) 消防団員として三十年以上。小橋二

市行政功勞

鈴木 繁(73) 新町二丁目区長として十年以上。新町二

山際平吉(71) 番田区長として十年以上。番田

後藤信夫(76) 幸町区長として十年以上。幸町一

佐々木一夫(74) 下興屋向区長として十年以上。下興屋向

坪谷喜三郎(79) 新町一丁目区副区長

として二十年以上。新町一

特別表彰

自治興隆

樋口博務(59) 市議會議員として十五年以上。後須田第三

大関勝正(65) 市議會議員として十五年以上。小橋一

安武秀敏(67) 市議會議員として十五年以上。幸町二

中野元榮(57) 農業委員会委員として二十年以上。岩野

小林惠喜(79) 選挙管理委員会委員として十五年以上。砂押新田

目黒興志康(76) 選挙管理委員会委員として十五年以上。黒水西

樋口耕太郎(82) 固定資産評価審査委員会委員として二十一年以上。第二十五区

古川良二(75) 固定資産評価審査委員会委員として十五年以上。青海町二

体育功勞

中野涼司(18) 日本ジュニア陸上競技選手権大会八百m走優勝。寿町

若林舞衣子(18) 日本女子オープンゴルフ選手権競技大会等において上位入賞。芝野

社会福祉功勞

長谷川貞一(76) 民生・児童委員として二十年以上。岡ノ町

小野塚憲治(74) 民生・児童委員として二十年以上。中興野

高井 亨(74) 民生・児童委員として二十年以上。黒水西

菊田泰策(65) 民生・児童委員として二十年以上。仲町

市行政功勞

高井 彰(66) 希望ヶ丘区長として二十年以上。希望ヶ丘

波塚彌衛(72) 国民健康保険運営協議会委員として二十年以上。黒水南

保健衛生功勞

渡邊敏行(42) 献血百回以上。上下条

関根拓也(28) 献血百五十回以上。八幡三

市行政功勞・私財寄付

市川新造(82) 長年にわたり東京で加茂郷人会事務局長を務め、郷土加茂の発展に尽力。また故番場春雄画伯の日本画「ゆきのふる里」を加茂市に寄贈。東京都中野区

平成18年度教育委員会表彰式 教育文化の発展に寄与

教育文化の発展・振興に寄与された皆さんが三月二日に加茂市役所で表彰されました。表彰された方は次のとおりです。(敬称略)

教育文化功労

- 中野保榮(75) 図書館協議会委員として十年以上。また、公民館運営審議会委員として十年以上。八幡一
- 浅見 睦(68) 公民館運営審議会委員として十年以上。栄町
- 中村幸一(58) 公民館運営審議会委員として十年以上。上高柳
- 岡 君子(63) 公民館運営審議会委員として十年以上。寿町
- 川口タカ(71) 社会教育委員として十年以上。神明町一

文化功労

- 岩富 満(52) 第六十一回新潟県美術展覧会(県展)写真部門において奨励賞受賞。中興野

感謝状贈呈

教育文化功労

- 服部千春(54) 多年にわたり子ども読書会のボランティアとして尽力。松坂町



副市長に吉田淳二氏、齋藤保氏

地方自治法改正により副市長制に移行

地方自治法の改正による助役、収入役制度の見直しに伴い、四月一日付で吉田淳二前助役と齋藤保前収入役の二人が副市長に選任されました。任期は、吉田副市長が平成十九年六月二十六日、齋藤副市長は平成二十三年三月三十一日となっています。



吉田淳二氏経歴(新潟県コン
パクター株式会社加茂工場
長 平成七年六月から加茂
市助役 武蔵工業大学卒
70歳 新栄町)



齋藤 保氏経歴(加茂市商
工観光課長 企画財政課長
平成十三年四月から加茂
市収入役 加茂農林高等学
校卒 64歳 大郷町一)

花粉症対策

花粉症とは

スギの花粉などによるアレルギー

花粉症はアレルギー性疾患の一つです。花粉が体内に入ること

でアレルギー反応が起こり、「くしゃみ、鼻水、鼻詰まり」や「目のかゆみ、涙目」など、主に鼻や目の症状が起

ります。日本で最も多い花粉症はスギ花粉症で、二〜五月ごろに症状

が起こります。

初期治療が大切

症状が出る前に初期治療を行う

花粉症の治療では「初期治療」を行って、花粉の飛散前から予防的に

対応することが大切です。症状が出る前から適切な薬を服用すれば、花

粉が飛散するようになっても、症状が出る時期を遅らせたり、重症化を

防ぐことが可能です。

初期治療の前に診断を受ける

花粉症と違って、違う病気の可能性もあるのです、まだ診断を受けて

いない場合は、初期治療を始める前にきちんと診断を受けることが大切

です。

症状が出たら

花粉情報をもとに花粉を回避する

花粉症の症状は、花粉が鼻や目に侵入することで起こります。症状を

少しでも軽減するには、原因となる花粉を回避することが非常に重要で

す。飛散量が多いときには、外出を控え、洗濯物を外に干さないように

して、花粉を回避しましょう。

外出するときの注意

外出する際には、次のようなことに注意しましょう。

▼マスクやメガネを使う これらの利用で鼻や目に入る花粉を少なく

できます。マスクは顔に密着し、すきまから花粉が入らないもの

を選びましょう。

▼服装 髪の毛には花粉が付きやす

いので、帽子をかぶります。さらに表面がサラサラして、花粉の付

きにくい上着やコートををはおると良いでしょう。

▼花粉を払う 帰宅したら、家に入る前に帽子や髪の毛、コート、ズ

ボン、スカートなどに付いた花粉をよく払って、室内に持ち込まな

いようにします。

▼洗顔など 家に入ったら洗顔、うがい、シャワーなどで花粉を流し

ます。鼻もかみましよう。

▼日常生活の注意 夜ふかしや睡眠

不足など、不規則な生活を送っていると、自律神経のバランスが乱

れ、症状が悪化すると考えられます。

▼飲酒は控える アルコール飲料を飲むと、血管が拡張して鼻が詰ま

りやすくなります。

▼まめに掃除する 掃除して、室内

に入り込んだ花粉を減らします。

症状に合った薬を選ぶ

花粉症の薬にはさまざまな種類があります。「くしゃみ、鼻水」の軽減に

有効で、眠気の少ない「第2世代抗ヒスタミン薬」、「鼻詰まり」に有効な

「抗ロイコトリエン薬」、鼻のいづれの症状に有効な「ステロイド薬」など

の内服薬があります。また内服薬のほか点鼻薬、点眼薬があります。そ

れぞれの薬によって、作用や効果、副作用、使用し始めてから効果が安

定するまでの期間、使用期間などに違いがあります。症状に合わせて医

師に処方してもらってください。

眠気の出方には個人差がある

花粉症の薬には眠気の出るものがあります。現在では眠気の出にくい

（加茂市医師会）

さんに使われています。しかし眠気

の出方には個人差があります。実際のところ、その薬を服用してみない

とわかりません。医師に相談してみてください。

血管収縮薬は使い過ぎない

点鼻薬のなかでも血管収縮薬は、鼻詰まりの改善に非常に有効ですが、

乱用すると薬の効果が低下したり、悪化することもあります。使い過ぎ

ないように注意しましょう。

目の症状があるとき

目の症状に対しては、各種の点眼薬が使われます。特にかゆみ強い

場合は、ステロイド点眼薬が有効です。しかし緑内障に注意してくださ

い。

医師とのコミュニケーションを大切

に

かぜと花粉症が混同される場合も少なくありません。自己判断せずに、

受診して診断を受けるようにしてください。また自分に適した治療を受

けるためには、症状やその程度、生活スタイルなどを医師にきちんと説

明したり、「仕事に差し支えるから眠気の少ない薬にしてほしい」「症

状を強く抑えたい」などの希望を伝え、よく相談することが大切です。

下条の大日堂 — 長福寺大日如来を安置 —

およそ百四十年前まで、下条の上興屋向、稲荷神社の登り口に「大日堂」があり、そこに大日如来坐像が安置されていた。この仏様はかつて下条の山手に長福寺という真言宗の寺の本尊仏という伝えがある。上杉景勝が会津・米沢に移封された慶長三(一五九八)年、長福寺の僧も同道し、寺跡にはこの本尊仏や仁王様が取り残された。仏様を放っておくのは忍びないと、村人は現在の小橋や保土嶋に移したりしたが、通行者の中に落馬する者が絶えず、占ったところ元の寺のあった方向に安置して欲しいとの卦が出て、稲荷社麓に移して、堂を建て安置したという(「光徳寺并大日堂縁起」)。

江戸時代後期、

天保十四年(一八四三)の下条西村

明細帳には、

「大日堂 本尊大

日如来 泰澄之作

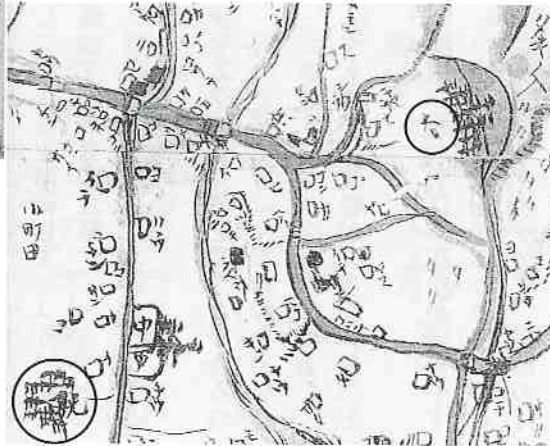
と有之申候 支配

西村 前々より西

村鎮守と奉称申候、

年号不相知縁起も

無御座候、但、境内石動小社、稲荷小社有之申候」とあり、お堂は下条西村で管理されていた。
 一 管見でこの大日堂のことを記す最も古い史料は、延享三年(一七四六)、夏五月、幕府巡見使が越後を通過し



文政年間の下条村絵図に記された「大日堂」。その左下、道や川を隔てた位置に「光」と光徳寺もある(○印)。大日堂に掲げられていた「大日殿」の額。裏に嘉永二年十二月とある。毎年四月十五日が祭礼。

た時に書かれた「御巡見道筋覚書」(八幡・小池清彦氏所蔵)である。これには巡見使が通行した上条村や加茂町の道順に、寺や神社・名主屋敷などが記載され、矢立の次に「御台領池端下条村」として、法音寺の次に「大日堂 山」と、その頃すでに稲荷神社麓にあったことを記している。この大日堂は次第に荒廃し、天保八年(一八三七)から嘉永二年の間に再建されている。再建寄附の触れは、下条西村の組頭根根仙助の名で、下条はもとより、村内に田畑を所有している、他村へも出され、天神林上村庄屋日野田源兵衛は金二朱を寄附している。

これより前の文政年間(一八一八〜二九)の下条村絵図には、稲荷社・石動社の森と思われる林山の麓に「大日」とあり、堂の所在がわかる。この後、お堂は約四十年後の明治三年(一八七〇)に神仏分離の明治新政府政策の一環により、中村の光徳寺の寺境内にそのまま移されている。大日堂はその後、境内の保育園新築拡張のため、堂はなくなり、今、大日如来坐像だけがかつて真言宗で加茂の金鋼谷にあった由緒を持つ光徳寺本堂内に安置されている。

(関 正平)

訂正とおわび

◆ 広報かも一月号(No.607)の7ページ「第28回元旦マラソン」の結果で、小学校3・4年男子の部②田澤悠大くん(加茂南小)の名前が誤っていました。

◆ 広報かも二月号(No.608)の16ページ「ありがとう」で、社会福祉費寄付金・茂野キエさん(上黒水)のお名前とご住所が誤っていました。

◆ 広報かも三月号(No.609)の20ページ「加茂の風土記」で、写真説明の故八百枝茂氏のお名前が誤っていました。

以上の各号の誤りを訂正し、おわびします。

人口のうごき

4月1日現在	
世帯	10,013 (+8)
人口	31,964 (-65)
男	15,439 (-43)
女	16,525 (-22)
()内は前月比	
(3月異動分)	
出生	16 (男3女13)
死亡	20 (男10女10)
転出	145
転入	84

※推計数のため変わる可能性があります。